

日本画家

平山画伯夫妻 × 仁坂吉伸

HIRAYAMA, Ikuo Michiko

和歌山県知事

NISAKA, Yoshinobu

シルクロードから 世界遺産「高野・熊野」へ

「自然から見た感動が強烈。
それが創作の源になるんです。」

(平山郁夫)

「信念の人」 松山常次郎

仁坂 今日はまず、奥様のお父様、和歌山県が生んだ偉大な政治家であり、日米開戦阻止にも努力された松山常次郎さんの思い出をお聞かせ願いたいと思います。この五月に松山常次郎記念館の落成式に出席しましたが、実は県内でも松山先生についてあまり知られていないのが実情です。その意味でも記念館の意義は大きいと思います。戦前の日本には「万能の達人、偉人」というべき方がおられました。松山先生もそういう方で、和歌山にもこんな立派な方がいたんだと誇りに思っています。

それから何となく平山が来て夕ご飯を食べたりするようになったんです。

仁坂 奥様が書かれたご本を見ますと、「平山先生はお客じゃなく、家族だ」と書いてありますね。

美知子夫人 三番目の兄が戦死していたので、母が平山を頼りにしていました。松山家というものがあつたからこそ、結婚したのだと思っっています。

仁坂 お父様は橋梁を勉強されたのに、開拓事業に携わった。これは、どうしてだったんでしょうね。

美知子夫人 父は日本の将来を考えた「きつと人口が増え、食糧難になる」と、橋を造るよりまず土地改良をしないといけないと思つたらしく、朝鮮半島で二万四千町歩も開墾しているんですね。ただ民間でいくら頑張ってもダメで、政治家になって幅広く働きかけないといけないという思いで、選挙に出たようです。

仁坂 (太平洋戦争の)開戦前にキリスト教信者の方々がアメリカに行かれたこともありましたがね。

美知子夫人 アメリカのクリスチャンに呼びかけて何とか戦争を阻止しようと、賀川豊彦(牧師・社会運動家、一八八八―一九六〇)さんら七、八人で、うちの兄が秘書役

松山常次郎記念館

今年5月3日、松山常次郎氏の築130年以上の生家を修復して開館。松山氏の遺品などの資料や、松山氏の娘婿である平山郁夫画伯の作品を展示している。

所在地 和歌山県九度山町九度山 1452

電話 0736-54-2414

開館時間 午前10時～午後4時半(入館は午後4時まで)

休館日 毎週月・火曜日(祝日の場合は開館)年末年始

入館料 大人 200円(15人以上の団体は 160円)

小中学生 100円(同 80円)

松山常次郎(1884—1961)

和歌山県九度山町出身の元衆議院議員。東京帝国大学土木工学科を卒業後、米国に留学し、橋梁設計を学ぶ。朝鮮半島に渡り、開拓事業に取り組む。1920(大正9)年、衆議院議員に当選、第2次世界大戦終戦までの24年間務める。1941(昭和16)年、キリスト教平和使節団を組織して渡米し、日米開戦阻止に努力。海軍政務次官を務めたことなどにより戦後、公職追放となり政界を引退した。



鎌倉 平山邸にて

平山郁夫

1930年 広島県瀬戸田町生まれ、わが国を代表する日本画家
広島で勤労動員中に原爆被災
16歳で東京美術学校(現東京芸術大学)に入学し、前田青邨に師事
1998年 文化勲章受章
東京芸術大学長などを歴任、現在、日本美術院理事長、日中友好協会会長などを務めている



平山美知子

1926年 東京都生まれ
東京美術学校(現東京芸術大学)を首席で卒業し、
1955年 同級生だった平山画伯と結婚
1968年以降、夫婦でシルクロード取材旅行を続ける
著書に『私たちのシルクロード』など
現在、平山郁夫シルクロード美術館(山梨)館長、和歌山県九度山町文化観光大使を務めている



でも流れは止められず、戦争になつてしまいました。

仁坂 自戒を込めて言うんですが、時代の流れに沿って旗を振るのは楽なんです。大事なことを「千人と雖も吾往かん」と主張することは簡単なことではありません。平山先生から見ると、松山先生はどんな方でしたか。

被爆から 芸術家の道へ

平山画伯 私は広島で被爆し、(終戦で)頭の上から爆弾が落ちてこない、好きなことができるだけで幸せであるというところから立ち上がりました。

松山の父から「先はどうだね」と聞かれ「全然わかりませんが、大変な道です」とそれはわかっておられたんじゃないですかね。自分の芸術理念を表現して世の中に出ていくのは、歴史を相手に闘うようなものですかね。

また、釈迦の涅槃図をどう表現すべきか思い悩んでいたところ、義父の死を目の当たりにしました。そこで悲しみを超えた死もあると確信をもち、涅槃図を大きく前進させることができたんです。

義父に導かれたんだと思つています。(一九六一年『涅槃幻想』)

仁坂 やっぱ見抜いたんだと思えますよ。

平山画伯 妻も絵がわかりますので、私の足りないところを進言したり、ちょっとした一言で、はっとすることがあるんですね。妻は非常に厳しい一番の批評家なんです。なかなか難しい世界で、そういうことがないはずか

一ミリ違つても全然違う方向に行きますから、それを積み重ねながら、最初は勉強していくんです。あわてて世に出ようとしてもダメなんです。充滿するまで蓄える我慢が、なかなか難しいんですね。

仁坂 私は行政官ですが、手取り早く片付けてと、つい考えてしまいますから、いかなああと反省するところも多くありますね。

夫婦

二人三脚で シルクロードを 歩く

仁坂 奥さんは、東京芸術大学を



仁坂吉伸

1950年 和歌山市生まれ
東京大学経済学部を卒業後、
通商産業省(現経済産業省)に入省
ブルネイ国大使を経て
2006年 和歌山県知事に就任

首席で卒業されたそうですが、自分も描こうとは思いませんでしたか。
美知子夫人 二年考えました。夫婦で画家だと、たいがい奥さんの方が真面目に一生懸命やって(画家として)残ってしまうことが多いので、私はそういうのは嫌だったんです。私の亭主になる人には、ちゃんとした画家になってほしい、それには二人で描いていくのはちょっと無理だと。

仁坂 先生は必ず現地へ取材に行つておられますね。奥さんはいつも一緒に取材旅行に行かれて、アレンジ面もされている。これは立派だと思つてます。

平山画伯 砂漠はどういうものか、イスラム教と暮らしとはどういふ関係があるのか、その民族性を体感しないと、広がり、スケール

ですが、それを具体的にどう描いていくのか、十年かかってしまいました。美術はやはり美しくないといけない。文学と少し違って、醜いことや辛いことがあつても、その中で浄化されて、希望の出るものでなければ、大変な目に遭っているからこそ、美しいものが描ける。ちょうど蓮の花が泥池から咲いてくるように。平和を祈りながら涅槃の、天国への道を描くのが美術だと。

仁坂 天国への道がシルクロードだということですか。

平山画伯 シルクロードは暑いし、自然も厳しいですけど、こういうところを通して文化が日本へやってきたんです。どこに行つても何もないが、そこが芸術の力で、「よーし」と希望や、次に生まれるものを予感するんです。

豊かになつたが 失つたものも 多い

仁坂 平山先生にこれからの日本はどうあるべきか、うかがいたいと思つてます。

平山画伯 信長の時代に日本に

ルや暑い寒いの実感もわかない。自然から見た感動が強烈なんです。それが一番の創作の源になるんです。また、同じ場所に何回行つても、一期一会といいますが、一番最初のわけのわからない時に会つた人や風景が一番感動しますね。

仁坂 仏教伝来、シルクロードとかが平山先生の原点だと思うんですが、そこがいいとお思ひになつた理由はありますか。

平山画伯 広島体験上、平和を祈ることが大きなテーマだったん

た宣教師が、日本は庶民も漢字が読める、外国人に親切でよく働くし、将来は立派な国になるんじゃないかと報告書を書いていました。今の日本は豊かになつたが、失つたものも多い。もう一度、日本の伝統文化や美徳を意識することが必要だと思ひます。

仁坂 私は博物学が好きなんです。プラント(植物)ハンターという人たちがいて、大英帝国華やかなりし頃に、貴重種を求めて新世紀に来るんですね。そんな中、幕末の日本に来たプラントハンターがびっくりしている話があるんです。日本では庶民の住む長屋に朝顔や菊の花がある。当時のイギリスでは貴族しか花を楽しむ心のゆとりがない。ところが日本では市井の人も花を愛でる、美しさを理解する国民だ、すごいことだと書いています。今の日本人は、このことを自覚していないんですね。

平山画伯 戦後、日本は近代史の中で何歩も先んじた制度を、国内外の大勢の犠牲者の上に作ったんだから、我々は困っている国を助ける、食糧問題でも福祉問題でもですね。また、文化の面でも人道的、技術的な国際協力を掲げるところを、期待されていますね。



人に対する 優しさを 失わないように

仁坂 松山先生がお生まれになった和歌山県については、いかがでしょうか。

美知子夫人 和歌山の九度山に帰ると、少し残念だけれど、眠っているような町になっています。作家の有吉佐和子さんが書いていらっしゃるけれど、昔は町並みがきれいだったし、私の母は腰巻で紀ノ川を渡ったと聞いています。父が望んだ和歌山とは違う方向に少し行っているかなと思うんですけど、もう少し目覚めた九度山になつてほしい、と思いますね。

仁坂 松山先生はどんな和歌山で

なければならぬと言っておられましたか。

美知子夫人 父は東京に住んでいました。が、とっても和歌山が好きで、九度山を愛してたと思っていますね。私も九度山をいい町にしたい。ああ九度山に行きたい、五月に行くと鯉轎があつていい、柿もおいしいし、みかんもおいしい、九度山に行けば心が休まるのよ、ということにしたいと思つてはいるんです。

仁坂 そうするために、いくつかわらなければいけないことがあつて、一つは若者が住み続けることができる地域でないといけない。そのために、時代に合った職業を和歌山でも選択できるようにしていきたい。このことは今、一生懸命頑張っています。

二つ目は、松山先生をはじめ和歌山の人々が元来持つていた

ような心を失つてはいけな

和歌山には立派な実業家、あるいは農業で頑張っている人たちがたくさんいるんですね。人に対する優しさを持つている人もたくさんいる。その心を失わないようにしないと。和歌山に来た人が、もうあんなところに行きたくないと思つたら面白くないですからね。

もう一つは、和歌山出身の人のご意見も大事にしていきたいと思つています。外に出ても和歌山のことを心の中で大切に思つている人はたくさんいますよ。そういう

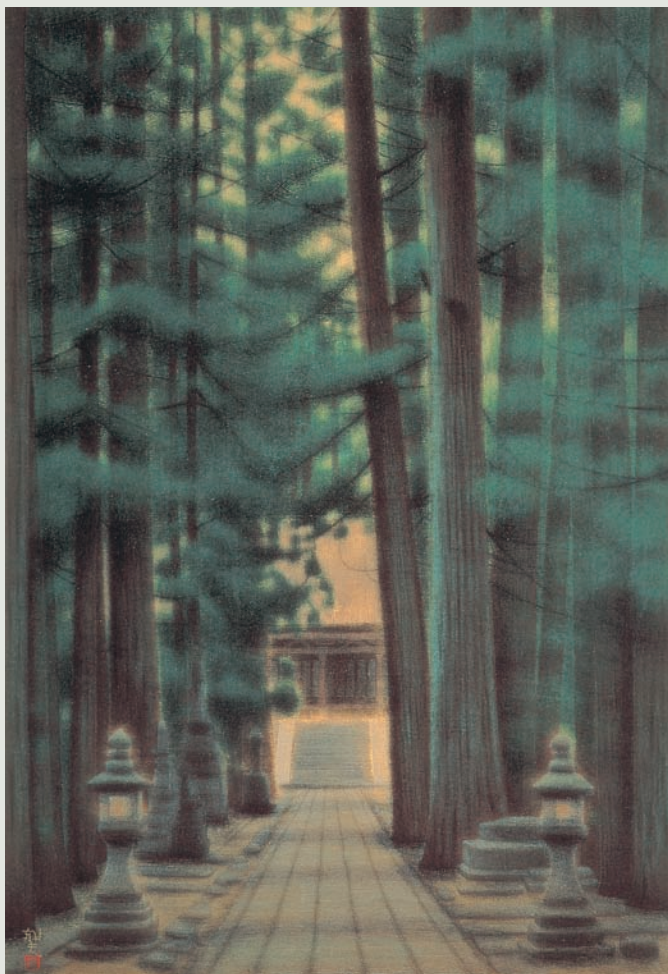
世界遺産 「高野・熊野」 守ることに 誇りを持つて

仁坂 先生にも描いていただいて、いる世界遺産の高野・熊野には多くの人が来ていただいています。しかし、満足して帰ってもらいたいには、我々がその良さを守り、流

行ることによる環境への弊害も除去していかなければいけないと思つています。

平山画伯 おっしゃるとおり、壊してはいけません。環境保護はこれからの大きな課題になります。世界中がどうするか。日本なんかは、自動車の二酸化炭素など一番考えながらやつてるんじゃないかと思つています。

仁坂 また、高野・熊野は俗化させてもいけないと思つています。高野山は昔から寺院がきちつと管理しているので安心ですが、問題はエリアの広い熊野です。そこで、県では景観条例を今一生懸命作つています。



平山郁夫《高野山奥之院》

人の知恵をお借りし、元気をもらつても大切だと思つています。

京都・奈良に 匹敵する 歴史の重み

平山画伯 和歌山県を思うとね、まずは熊野詣で。平安朝から鎌倉時代にかけて(上皇貴族が)何回も行かれていますね。近世になったら、徳川御三家ですね。吉宗(八代将軍)も出ています。日本列島の

似つかわしくない派手な色の建物が多かったりしています。このようなことをさせてはいけません。

平山画伯 イタリアではどこでも個人主義が徹底していますが、景観は徹底して守りますね。守ることに誇りを持つています。和歌山を歩くと、日本の原風景みたいな場所が数多く残つていますしね。そういう点で人を引きつける力があるんじゃないですかね。

仁坂 場所だけでなく、熊野の歴史や文化を深く理解し、熊野古道を歩く方にそれを伝える語り部のひとたちも人を引きつける力で、和歌山県の大きな財産です。和歌山に来て、心の満足を持つて帰ってもらえるよう、これからは頑張つて行きたいと思つています。本日はありがとうございました。

中で見ると、日本を分母とすると、分子である和歌山の比重はとても重いわけですね。高野山もありますしね。精神的にそういうものがあるということとは、非常に強いと思つています。和歌山には京都・大和と並んでも遜色のない歴史の重みがありますよ。

美知子夫人 私、天野(和歌山県かつらぎ町)に行く、天孫降臨はここではないかと思うほど。だって丹生都比売(姫)が稲作を教えているんですよ。本当に良い土地なんじゃないかと思つていますね。

仁坂 そういう古き良きものは大きな財産です。失わないようにしないとイケません。

平山画伯 高野・熊野は祈りの道です。環境保護もきちつちりされておろ、ここも大変な財産ですよ。

